

京都大学では、障害学生支援の窓口として、DRC: Disability Resource Centerを設置しています。

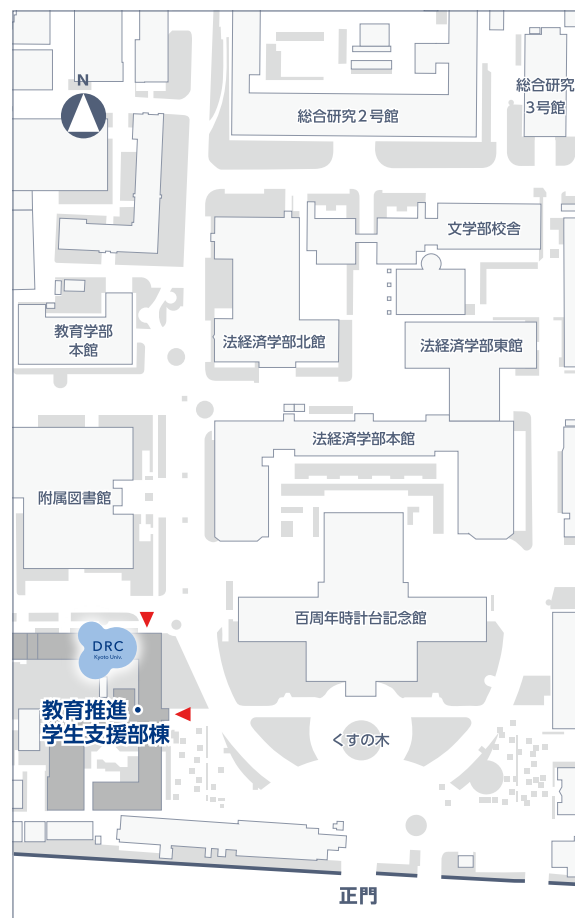
※障害学生支援ルームは2022年4月をもって名称を変更しました。

障害学生支援について、難しく考える必要はありません。よりよい学生生活をおくるために、DRCのドアを開いてみてください。



京都大学における、障害学生支援の拠点としての役割を果たしています。  
本学の学生や教職員であれば、どなたでも利用可能です。

## 吉田キャンパス本部校内地図



※来室の際に、介助が必要な場合は、ご連絡ください。

京都市左京区吉田本町 京都大学  
吉田キャンパス本部構内 教育推進・学生支援部棟  
(旧石油化学教室本館) 1階

TEL:(075)753-2317 FAX:(075)753-2319  
MAIL : drc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp

**DRC**  
Kyoto Univ.  
**Kyoto University  
Disability Resource Center**  
学生総合支援機構 障害学生支援部門

DRC  
Kyoto Univ.

## Kyoto University Disability Resource Center

学生総合支援機構 障害学生支援部門

部門長 林 達也 (人間・環境学研究所 教授)  
チーフコーディネーター 村田 淳 (准教授)  
※その他コーディネーター・スタッフが複数名在籍

場所 吉田キャンパス 教育推進・学生支援部棟  
(旧石油化学教室本館) 1階

開室時間 9:00～17:00  
月曜日～金曜日 (祝日を除く)

## 相談

Consultation

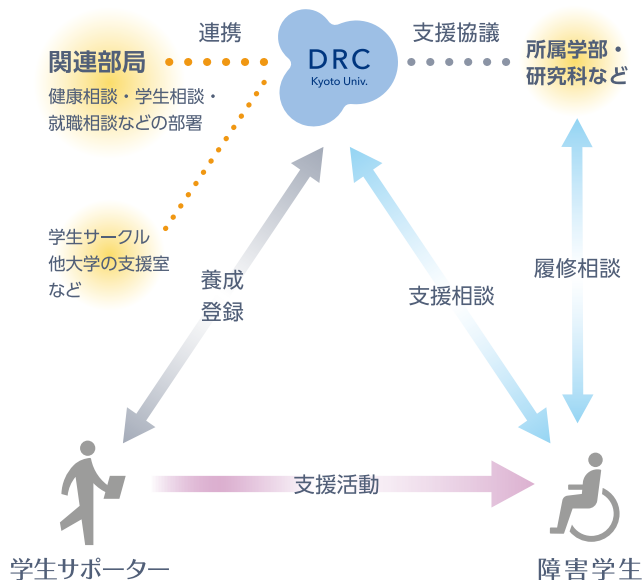


専任のスタッフが、障害があるなどの理由により、  
修学上の様々な悩みや相談ごとをかかえる学生の  
相談に応じています。また、教職員や保護者の方の  
ご相談も可能です。



DRCスタッフが日々の相談に応じています。

## 支援体制図



## 交流

Community



DRCには、交流スペースを設けています。  
交流スペースは、開室時間内で開放し、障害学生と  
支援学生、さらには教職員も含めた交流の場にな  
ればとも考えていますので、気軽に立ち寄ってみて  
ください。

また、障害に関する書籍や、支援に関するDVDなど、  
様々な情報を閲覧することができます。

## 支援

Support



支援は、障害のある学生本人からの申し出により、  
所属学部・研究科等や関連部局と連携しながら進  
めていくことになります。

支援の内容としては、修学・研究上で必要となる  
支援(情報保障、移動介助等)、また、支援物品の  
貸し出し、施設・設備の整備などです。

※以下は支援の一例です。

- 視覚障害 . . . . . 資料等の点訳・音訳、対面朗読、  
ガイドヘルプ、書籍等のテキストデータ化 など
- 聴覚障害 . . . . . ノートテイク、PC文字通訳、  
映像教材の字幕付け など
- 肢体不自由 . . . . . 施設・設備の整備、教室変更、  
介助者の配置 など
- 発達障害 . . . . . 修学環境の調整、TAの配置 など



DRCでは、施設・設備の情報と  
目的地までのバリア(障壁)を表  
示したフリーアクセスマップを作  
成・配布しています。

- 吉田キャンパス1・2
- 桂キャンパス
- 宇治キャンパス

ご利用の方は、DRCまでご連絡  
ください。

また、関連書籍や支援物品の貸  
し出しを行っています。

貸出物品

- 関連書籍
- 車椅子
- 点字プリンタ
- 簡易筆談器
- 拡大読書器 など

